

平成23年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け (Plan)			内部評価者名 課長・室長・支所長	湯原 忍	
事務事業名	シニアスポーツリーダー派遣事業		担当者	宮内 明智	
所管部課名	教育部 市民スポーツ課		事業の根拠 (根拠法令)		
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり	主要施策 (節)	スポーツの振興
				施策 (項)	スポーツの振興
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	保健体育費		目	保健体育総務費
	事項	健康スポーツ推進事業費	細事項	健康スポーツ推進事業費	

事業の概要

地区コミュニティ等を単位として、シニアスポーツリーダー（養成講習会修了者）を派遣し、シニア世代を対象にしたスポーツ教室を行う。
 スポーツ教室を通じ、自分の健康は自分で手に入れるという意識づけを行い、健康体力づくりの習慣化をとおして、地域の活性化を図る。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	市民(シニア世代)		事業開始年度		平成19年度		
	手段 (市がどのような活動をするか)	地区コミュニティ協議会を単位として、シニア世代を対象としたスポーツ教室にシニアスポーツリーダー(指導者)を派遣する。	活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	シニアスポーツ教室未実施地区への勤奨 地区コミュニティ協議会への事業説明			
				最終目標値	3回/年 随時			
				最終年度				
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	地域に指導者を派遣することで、市民が気軽にスポーツに親しむ環境を提供する。 また、ストレッチや手軽な筋力トレーニング等を実施することにより、自分の健康は自分で手に入れるという意識づけを行い、運動習慣の定着が図られ、健康体力づくりができる。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	シニアスポーツ教室実施地区数 シニアスポーツ教室実施回数			
				最終目標値	48地区 各地区10回/年			
最終年度				平成30年度 平成30年度				
コスト・指標の推移	項目	単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 (見込み)	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)	
	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		295	230	520	520	520
		合計(A)		295	230	520	520	520
	従事職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	
	人件費(B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	
	従事嘱託員数	人						
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト	千円	5,895	5,830	6,120	6,120	6,120	
活動指標の推移		回/年	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	
		回/年	100回/年	100回/年	100回/年	100回/年	100回/年	
成果指標の推移		実施地区数	11地区	9地区	10地区	10地区	10地区	
		実施回数	110回	90回	100回	100回	100回	

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

報償費(シニアスポーツリーダー講師謝金)
 普通旅費(シニアスポーツリーダー派遣講師旅費)

